

牛道春秋

駐在妻の欄

▼十月の異動(転勤)期を控えたある土曜日、郡上ならではの体験をしておこうと、明宝高原へカヌー体験をしに行きました。▼小学生からは一人乗りも大丈夫とのことで、小学二年生の長男は果敢にも一人乗りに挑戦しました。▼日傘を差しながらの乗船は駄目とのことで、私は日陰から写真を撮っていました。年は取りたくないものです。▼一人乗りの長男は最初は撮っていました。年を取りたくないものです。▼一人乗りの長男は最初はパニック状態でパドルが暴れまくり、中々前に進めませんでした。段々慣れてきてスイスイ進めるようになって、とても嬉しそうな表情を見せてくれました。▼カヌーの後、長男は池の上空を滑車で綱渡りするジップライオンもやりたいと言い出しました。▼安全帯を付ける時に身体の線が細すぎで、スタッフの方に「もっとご飯食べさせてもらってね。」と注文を付けられながらも何とか滑走することが出来ました。▼誰に似たのか小さなころから小心者だった長男でしたが、随分と成長したなあと感心しました。▼あとは道の駅で買った明宝ランクを兄の分まで横取りして食べていた長女くらいの食欲が付いてくるといいなと期待しています。▼さて、夫のジップラインのような綱渡り駐在所勤務ですが、地域の皆様のご協力と小心者ではなく「昇進しない者」が幸いして、もうしばらく継続することができそうです。▼今後もよろしくお願ひします。